

I. 口演(学会等)

Hida T, Surgical Management of AMD:2007 Sino-Japanese AMD Symposium.Chengdu, April4-7, 2007.

堀江大介, 濱由起子, 栗原崇, 稲見達也, 平形明人, 吉野啓:ベバシズマブを使用した重症糖尿病網膜症の一症例. 第 47 回東京多摩地区眼科集談会, 三鷹, 平成 19 年 4 月 7 日.

平形明人(教育講演):飛蚊症.第 53 回日常に役立つ眼病態の知識:考えながら診療を! 日本眼科医会生涯教育講座, 名古屋, 平成 19 年 4 月 14-15 日.

永本敏之:JSCRS での取り組みー指導医の育成.(教育セミナー:白内障手術トレーニング法)第 111 回日本眼科学会総会, 大阪, 平成 19 年 4 月 19-22 日.

宮澤颯子, 平形明人, 高橋清喜, 樋田哲夫, 飯原久仁子, 藤岡保範:難治性網膜剥離を合併した von Hippel 病網膜血管芽腫の組織学的検討. 第 111 回日本眼科学会総会, 大阪, 平成 19 年 4 月 19-22 日.

渡辺交世, 岡田アナベルあやめ, 三木大二郎, 平形明人:急性網膜壊死の臨床的経過についての検討. 第 111 回日本眼科学会総会, 大阪, 平成 19 年 4 月 19-22 日.

栗原俊英,小沢洋子,永井紀博,井上 真,尾池雄一,岡野栄之,坪田一男,石田晋 : 早期糖尿病網膜症における網膜機能障害に対するAT1R阻害剤の神経保護効果. 第 111 回日本眼科学会総会, 京都, 平成 19 年 4 月 19-22 日.

里深信吾,市原淳弘,永井紀博,厚東隆志,小沢洋子,井上 真,伊藤 裕,坪田一男,石田 晋 : プロレニン受容体の阻害による脈絡膜血管新生の抑制. 第 111 回日本眼科学会総会, 京都,平成 19 年 4 月 19-22 日.

永井香奈子,永井紀博,里深信吾,小沢洋子,井上 真,坪田一男,大神一弘,大野重昭,石田晋 . ルテインによる実験的脈絡膜新生血管の抑制. 第 111 回日本眼科学会総会, 京都, 平成 19 年 4 月 19-22 日.

永本敏之:フェイコ新時代 ートーショナルフェイコー. (教育講演)第64回香川大学眼科研究会, 高松, 平成 19 年 4 月 28 日.

Nagai N, Oike Y, Izumi-Nagai K, Koto K, Satofuka S, Shinoda S, Ozawa Y, Inoue M, Tsubota K, Ishida S : Suppression of choroidal neovascularization by inhibiting angiotensin-converting enzyme miinimal role of bradykinin. ARVO Annual Meeting, Florida, May. 6-10,2007.

Kurihara T. Ozawa Y, Nagai N, Inoue M, Oike Y, Okano H, Tsubota K, Ishida S : Neuroprotective effects of angiotensin II type 1 (AT1R) receptor blocker Telmisartan on early diabetic retina. ARVO Annual Meeting, Florida, May. 6-10,2007.

Koto T, Nagai N, Mochimaru H, Izumi-Nagai K, Satofuka S, Shinoda H, Noda K, Kurihara T, Ozawa Y, Inoue M, Tsubota K, Ishida S. Anti-inflammatory effect of eicosapentaenoic acid on diabetic retina in vivo and cytokine expression in vitro. RVO Annual Meeting, Florida, , May. 6-10,2007.

Pulivarthy SR, Tanaka N, & Panda S : Photoentrainable Circadian Oscillator in Cultured Mammalian Cells. Ann. Meet. of Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO), Fort Lauderdale, May 6-10, 2007.

Hotta K, Hotta J, Uchida J, Ishigaki J, Iwakawa M, Yokota R, Yokoyama Y, Ono Y : Effects of Mitomycin C on Corneal Endothelium and Blood-Aqueous Barrier Function, Annual Meeting of Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO), Ft Lauderdale, Florida, May 10, 2007.

平形明人(招待講演):アトピー性皮膚炎に伴う網膜剥離. 第 25 回西中国眼疾患フォーラム, 平成 19 年 5 月 24 日.

平形明人(招待講演):糖尿病網膜症治療のアップデート. 四国 Eye ランドセミナー, 高松, 平成 19 年 5 月 26 日.

浜由起子, 平形明人, 柳沼重晴, 野田英一郎, 樋田哲夫, 富田香:先天無虹彩に 360° 鋸状縁断裂による網膜剥離を合併した一例. 第 32 回日本小児眼科学会総会, 名古屋, 平成 19 年 6 月 15-16 日.

平形明人(教育講演):網膜復位術の気になる手技. 第 6 回硝子体手術ビデオセミナー, 京都, 平

成 19 年 6 月 17 日.

平岡智之:網膜硝子体. 東京都基礎眼科講習会, 東京, 平成 19 年 6 月 23 日.

永本敏之:後発白内障と調節性眼内レンズ(特別講演). 第 22 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 松山, 平成19 年 6 月 29-7 月 1 日.

中野敦雄, 渡辺交世, 並木泉, 永本敏之:Torsional フェイコの水晶体嚢への影響. 第 46 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 愛媛, 平成 19 年 6 月 29 日.

渡辺交世, 中野敦雄, 並木泉, 永本敏之::部分的縫着リング6E による水晶体位置矯正を試みた 3例. 第 46 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 愛媛, 平成 19 年 6 月 30 日.

柳沼重晴, 中野敦雄, 並木泉, 渡辺交世, 永本敏之:マルファン症候群による水晶体亜脱臼の手術成績. 第 46 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 愛媛, 平成 19 年 6 月 30 日.

平形明人(招待講演):血管新生緑内障に対するベバシズマブを用いた治療戦略. 第 127 回糖尿病談話会, 東京, 平成 19 年 7 月 4 日.

樋田哲夫:アトピー性白内障・網膜剥離. 第31回日本小児皮膚科学会学術大会シンポジウム1, 博多, 平成19年 7 月 7 日.

慶野博:CD4<sup>+</sup>CD25<sup>+</sup>制御性 T 細胞を用いた実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎の抑制機序の解析, 第 41 回日本眼炎症学会(学術奨励賞), 東京, 平成 19 年 7 月 6-7 日.

中島史絵, 渡辺交世, 岡田アナベルあやめ. 視神経網膜炎を発症したネコひっかき病の 3 例. 第 41 回日本眼炎症学会, 平成 19 年 7 月 6~8 日.

樋田哲夫:眼循環で頭の体操~専門バカになるな. 第 24 回日本眼循環学会, 高松,平成19年7 月 13 日.

平形明人(招待講演):網膜静脈分枝閉塞症の治療. 第6回千駄木フォーラム, 東京, 平成 19 年 7 月 26 日.

永本敏之:白内障手術教育. 眼科診療アップデートセミナー2007, 東京, 平成 19 年 7 月 29 日.

井上 真：糖尿病眼合併症と治療法. 第4回東京糖尿病療養指導プログラム, 東京, 平成19年7月29日.

岡田アナベルあやめ. Behçet 病の難治性網膜ぶどう膜炎に対するレミケード<sup>®</sup>投与. Japan Macula Club, 蒲郡, 平成19年8月18~19日.

井上 真：25G Bimanual vitrectomy. 第9回 Tokyo Retina Club, 千葉, 平成19年8月3日.

石垣純子, 小山雅明, 森幸夫, 横田怜二, 内田淳子, 岩川雅哉, 横山恭典, 堀田順子, 堀田一樹: 健康診断部門と眼科診療部門のオンライン化による眼底読影システム, 第48回日本人間ドック学会, 東京, 平成19年8月30日.

永本敏之: 成熟・過熟・膨潤白内障の手術. (教育講演) 第15回霧島眼科研鑽会, 都城, 平成19年9月1日.

Okada AA. Steroid-sparing therapy in uveitis. Sino-Japanese Symposium on Uveitis, 12th Congress of the Chinese Ophthalmological Society, Zhengzhou, China, September 1, 2007.

慶野博: ベーチェット病における網膜ぶどう膜炎に対するインフリキシマブの有用性, 第4回抗サイトカイン療法研究会, 東京, 平成19年9月1日.

平形明人(招待講演): 眼内炎の診断と治療. 第2回高知 RETINA フォーラム, 高知, 平成19年9月8日.

Hirkatta A(シンポジウム): Vitrectomy without Laser Photocoagulation and Gas Tamponade for Optic Disc Pit Maculopathy. The 3rd International Symposium on Macular Diseases, Sydney, Sep 14-16.

Hirkatta A(シンポジウム): Diagnostic Vitreous Surgery. The 3rd International Symposium on Macular Diseases, Sydney, Sep 14-16.

井上 真：動脈硬化性疾患の臓器別報告. 眼に関して Expert meeting, 東京, 平成19年9月15日.

栗原 崇, 稲見達也, 吉野 啓: 増殖糖尿病網膜症による血管新生緑内障に対する線維柱帯切除術の成績. 第18回日本緑内障学会, 岐阜, 平成19年9月15日.

吉野 啓:シンポジウム2・緑内障手術の新しい風 ベバシズマブを用いた血管新生緑内障の治療戦略. 第18回日本緑内障学会, 岐阜, 平成19年9月15日.

Okada AA, Keino H, Watanabe T, Taki W. Clinical outcomes of initial treatment with pulse intravenous corticosteroids for Vogt-Koyanagi-Harada disease. 9th International Congress of the International Ocular Inflammation Society, Paris, September 17-20, 2007.

Yamanaka E, Nobuyuki O, Okada AA, Tano Y. Clinical features of acute retinal necrosis caused by cytomegalovirus. 9th International Congress of the International Ocular Inflammation Society, Paris, September 17-20, 2007.

Hirakata A(教育講演): Wide-Viewing System. Advanced Vitreous Surgery Course, Tokyo, 平成19年9月22-23日.

Hirakata A(教育講演): Macular Schisis without an Optic Disc Pit. Advanced Vitreous Surgery Course, Tokyo, 平成19年9月22-23日.

平形明人(招待講演):開業医に必要な緑内障の知識ー緑内障とは?緑内障検出のための検診ポイントー. 越谷市医師会学術講演会, 越谷, 平成19年9月26日.

平形明人(招待講演):硝子体手術の現況. 第100回佐賀大学眼科臨床懇話会, 佐賀, 平成19年9月29日.

吉野 啓:緑内障の手術療法. 第2回多摩眼科勉強会, 立川, 平成19年10月5日.

平形明人(教育講演):硝子体手術の疑問に答えるー硝子体手術のXYZーコツと原理. 第61回日本臨床眼科学会, 京都, 平成19年10月11-14日.

平形明人(教育講演):美しい黄斑形態を目指して. 第61回日本臨床眼科学会, 京都, 平成19年10月11-14日.

岡田アナベルあやめ. 後部ぶどう膜炎に対するステロイドの硝子体内インプラント. 第61回日本臨床眼科学会, 京都, 平成19年10月11~14日.

慶野博, 渡辺交世, 瀧和歌子, 岡田アナベルあやめ:ベーチェット病難治性網膜ぶどう膜炎に対するinfliximab治療の経過, 第61回日本臨床眼科学会, 京都, 平成19年10月11-14日.

大鹿哲郎, 黒坂大治郎, 徳田芳浩, 永本敏之, 稲村幹夫:難症例の白内障手術. (インストラクションコース)第61回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 19 年 10 月 12 日.

五月女典久, 平形明人, 井上真, 三木大二郎, 樋田哲夫:乳頭小窩や後部ぶどう腫を伴わない網膜分離様変化の臨床的特徴. 第 61 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 19 年 10 月 11-14 日.

平岡智之, 平形明人, 樋田哲夫, 田川茂樹:意図的後部硝子体剥離のみで改善した乳頭小窩黄斑症候群の 2 例. 第 61 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 19 年 10 月 11-14 日.

浜由起子, 鈴木由美, 野田英一郎, 川瀬英理子, 平形明人:早期発症の調節性内斜視と考えられた 3 例. 第 61 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 19 年 10 月 11-14 日.

宮澤顕子, 廣田和成, 平形明人, 樋田哲夫, 西山和利, 橋本洋一郎:卵円孔開存を伴った片頭痛発作後の若年性網膜中心動脈閉塞症の一例. 第 61 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 19 年 10 月 11-14 日.

川村亮介,井上 真,鈴木浩太郎,篠田 肇,今村 裕,小沢洋子,石田 晋 : トリアムシノロンアセトニドのテノン嚢下注射による眼圧上昇. 第 61 回日本臨床眼科学会,京都,平成 19 年 10 月 11 日-14 日.

井上 真 : 硝子体手術最前線. さまざまなゲージでの硝子体手術. -もっと広げよう 25G 硝子体手術-.第 61 回日本臨床眼科学会,京都,平成 19 年 10 月 11 日-14 日.

井上 真 : 非球面眼内レンズが硝子体手術にもたらすもの. HOYA イブニングセミナー, 第 61 回日本臨床眼科学会, 京都,平成 19 年 10 月 11 日-14 日.

井上 真 : 硝子体手術後の眼球運動障害. 第 32 回 RETINA の会,京都, 平成 19 年 10 月 13 日.

横田怜二, 横山恭典, 岩川雅哉, 内田淳子, 石垣純子, 堀田順子, 堀田一樹:円錐角膜を伴った黄斑ジストロフィ, 第 61 回日本臨床眼科学会, 京都市, 平成 19 年 10 月 13 日.

井上 真 : 非球面眼内レンズと硝子体手術中の眼底観察. 慶應大学眼科カンファレンス, 東京, 平成 19 年 10 月 18 日 .

小林 泉 , 井上 真 : VKHに伴った黄斑円孔への硝子体手術. 第48回東京多摩眼科集談会, 東京, 平成19年10月20日.

井上 真 : 日常診療に役立つ眼病態の知識: 考えながら診療を. 飛蚊症. 第116回神奈川県眼科集談会, 横浜, 平成19年10月21日.

平形明人(教育講演): 黄斑疾患の病態総論. 平成19年度卒後研修研究会－黄斑疾患コース第7回－, 東京, 平成19年10月27日.

平形明人(教育講演): 硝子体手術アップデート. Midland Seminar of Ophthalmology, 名古屋, 平成19年10月27日.

平形明人(招待講演): 網膜剥離の術式について. 第24回城南眼科集談会, 東京, 平成19年11月1日.

Inoue M, Hida T: Earlier visual recovery after small-incised vitrectomy. The 24<sup>th</sup> Congress of the Pan-Pacific Surgical Association – Japan Chapter, Hawaii, Nov. 1-4, 2007.

平形明人(招待講演): 眼内炎の治療. 第79回福島眼科集談会, いわき, 平成19年11月4日.

井上 真 : LASIK術後の網膜剥離. 第9回西東京眼科フォーラム, 東京, 平成19年11月7日.

井之川 宗右: 杏林アイセンターにおける角膜移植と5年目を迎えた杏林アイバンク, 第9回西東京眼科フォーラム, 東京, 平成19年11月7日.

永本敏之: これからの白内障手術教育(特別講演). 第2回越後眼科研究会, 新潟, 平成19年11月10日.

井上 真 : 黄斑疾患コース 第8回「黄斑浮腫の治療」. 平成19年度卒後研修研究会, 東京, 平成19年年11月24日.

細田信吾, 川村亮介, 石田 晋, 小沢洋子, 今村 裕, 篠田 肇, 鈴木浩太郎, 井上 真 : 特発性黄斑円孔に対する25ゲージ経結膜硝子体手術後の視野の検討. 第46回網膜硝子体学会, 青森, 平成19年11月23日-25日.

横山恭典, 堀田順子, 堀田一樹: HIV 網膜症を合併した増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術, 第 46 回日本網膜硝子体学会, 青森市, 平成 19 年 11 月 24 日.

井上 真: 非球面眼内レンズと硝子体手術中の眼底観察, 第 2 回信濃町網膜研究会, 東京, 平成 19 年 11 月 30 日.

平形明人(招待講演): 黄斑分離様変化をきたす病態とその治療. 第 5 回医療連携を考える会, 東京, 平成 19 年 12 月 1 日.

岡田アナベルあやめ. AMD の ABC. 第 38 回東京都眼科医会研修会, 東京, 平成 19 年 12 月 1 日.

堀江大介, 渡辺敏樹, 気賀澤一輝, 平形明人: 複数の甲状腺関連自己抗体を発言した眼窩筋炎の 1 例. 第 45 回日本神経眼科学会総会 平成 19 年 12 月 1 日.

Inoue M, Hida T: Earlier visual recovery after small-incised vitrectomy: The 25<sup>th</sup> Annual meeting of American Society of Retina Specialists, CA, Dec. 1-5, 2007.

Inoue M.: New 25-gauge Cannula System with Microvitorectinal Blade Trocar. The 25<sup>th</sup> Annual meeting of American Society of Retina Specialists, CA, Dec. 1-5, 2007.

岡田アナベルあやめ. AMD の ABC. 第 4 回岡山ビジョンナ会議, 岡山 1, 平成 20 年 1 月 12 日.

土屋充輝, 廣田和成, 井上真: 多焦点眼内レンズ挿入眼における硝子体手術中の見え方. 第 10 回 Tokyo Retina Club, 東京, 平成 20 年 1 月 26 日.

井上 真: 日常に役立つ眼疾患の知識「飛蚊症」. 第 3 回西東京市眼科医学学術講演会, 東京, 平成 20 年 1 月 29 日.

平形明人(教育講演): 術後眼内炎に対する硝子体手術. 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 2 日.

平形明人(教育講演): 術後眼内炎を追い詰める. 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 2 日.

岡田アナベルあやめ. シンポジウム: 黄斑疾患の最新の治療戦略—メディカル対サージカル. 静脈



閉塞症に伴う黄斑浮腫 先ずメディカルで試みる. 第 31 回日本眼科手術学会総会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1~3 日.

永本敏之:最後の核片処理以降の後囊破損(教育セミナー「白内障-リカバリーの基本」). 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日-3 日.

永本敏之:後囊破損処理(スキルトランスファー). 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日-3 日.

加藤聡, 緒方奈保子, 三木大二郎, 森隆三郎, 川島秀俊, 安藤伸朗:網膜光凝固術の適応と限界(教育セミナー). 第 31 回日本眼科手術学会総会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日.

三木大二郎, 塚原逸郎, 清川正敏, 稲用和也, 平岡智之, 廣田和弘(スキルトランスファー):硝子体. 第 31 回日本眼科手術学会総会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日.

井上 真:インストラクションコース「経結膜小切開硝子体手術. 25G 手術スタイル+アプローチ」. 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日-3 日.

井上 真:シンポジウム5.極小切開白内障手術との同時手術「硝子体手術と coaxial micro phaco」. 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日-3 日.

井上 真:ランチョンセミナー2. 「20 ゲージ硝子体手術と小切開硝子体手術の境界. 難治疾患に対する strategy」. 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日-3 日.

吉野 啓:緑内障手術のこれから —レクミーは何処へ行く? 第9回「眼科手術開業医の会」主催セミナー, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日.

平岡智之(スキルトランスファー):硝子体. 第 31 回日本眼科手術学会総会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日.

稲見達也, 栗原崇, 吉野啓:アバスチン投与後の血管新生緑内障に対する線維柱帯切除術の成績. 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 2 日.

中野敦雄, 渡辺交世, 並木泉, 永本敏之:トーションアルフェイコと従来のフェイコの比較. 第 31 回日本眼科手術学会, 横浜, 平成 20 年 2 月 1 日-3 日.

平形明人:乳頭ピットのない黄斑分離様病態. 硝子体手術フォーラム, ルスツ, 平成 20 年 2 月 15-16 日.

平形明人(招待講演):眼内炎治療から学んだこと. 第 10 回富山網膜硝子体研究会, 富山 平成 20 年 2 月 23 日.

永本敏之:意外と知らない白内障—術前・術後—(教育講演). 札幌眼科集談会, 札幌, 平成 20 年 3 月 8 日.

永本敏之:ぶどう膜炎患者の白内障手術(特別講演). 第 17 回ぶどう膜炎カンファレンス, 東京, 平成 20 年 3 月 14 日.

平形明人(シンポジウム):病院内での連携—診療スペースの共有. 第 14 回日本糖尿病眼学会総会, 東京, 平成 20 年 3 月 16 日.

## II. 論文

平形明人:網膜上組織からの情報. 日本の眼科 78:589-593, 2007.

小笠原亜希子 気賀沢一輝 渡邊敏樹 高間直彦 平形明人:拍動性眼球突出を認めた 2 例. 神経眼科 24:43-47, 2007.

平形明人:最近の網膜硝子体手術の進歩. 日本医師会雑誌 136:1759-1764, 2007.

三木大二郎:眼科誌上グラウンドラウンド 2 アトピー性網膜剥離. 眼紀 58:103-104, 2007.

三木大二郎:硝子体手術を受けて, うつ伏せ姿勢をとらなくなってきた患者さんへの指導. 眼科ケア 101:49-54, 2007.

三木大二郎:硝子体—その 1:豚眼を用いた硝子体手術の練習. 眼科手術 20:401-403, 2007.

三木大二郎:硝子体—その 2:豚眼を用いた硝子体手術の練習. 眼科手術 20:525-527, 2007.

杉谷篤彦, 平形明人, 平岡智之, 三木大二郎, 岡田アナベルあやめ, 樋田哲夫:黄斑上膜術後の持続性低眼圧に対する治療経験. 眼臨 101:957, 2007.

太田 優,鈴木浩太郎,川村亮介,篠田 肇,今村 裕,小沢洋子,篠田 啓,石田 晋,井上 真 : 25  
ゲージ網膜下注入針を用いた黄斑下手術. 眼科 49: 193-198, 2007.

遠藤安希子,川村亮介,鈴木浩太郎,篠田 肇,小沢洋子,今村 裕,石田 晋,井上 真,坪田一男 :  
角膜白斑を合併した網膜剥離の 1 例. 眼科 49: 841-846, 2007.

栗原俊英,野田航介,野田実香,永井紀博,井上 真 : 吸引機能を付加した新しい強膜バックリング  
術用スパーテル‘アスピレーティングスパーテル’ . 眼科手術 20(3):379-381,2007

佐藤裕理, 篠田啓, 鈴木浩太郎, 小沢洋子, 石田晋, 井上真 : 酢酸トリアムシノロンのテノン囊  
下投与併用光線力学療法. 眼科 49 (1):71-77, 2007.

Mantovani A, Resta A, Herborg CP, Abu El Asrar A, Kawaguchi T, Mochizuki M, Okada AA, Rao  
NA. Perspectives and Expert Opinions. Work-up, diagnosis and management of acute  
Vogt-Koyanagi-Harada disease: A case of acute myopisation with granulomatous uveitis. *Int  
Ophthalmol* 27:105-115, 2007.

Soutome N, Sugahara M, Okada AA, Hida T. Subretinal hemorrhages after blunt  
trauma in pseudoxanthoma elasticum. *Retina* 27:807-808, 2007.

Keino H, Okada AA. Behcet's disease: global epidemiology of an Old Silk Road disease. *Br J  
Ophthalmol* 91:1573-1574, 2007.

Nagai N, Izumi-Nagai K, Oike Y, Koto T, Satofuka S, Shinoda H, Noda K, Ozawa Y, Inoue  
M, Tsubota K, Yamashiro K, Umezawa K, Ishida S : Suppression of diabetes-induced retinal  
inflammation by blocking angiotensin II type 1 receptor or its downstream NF- $\kappa$ B pathway. *Invest  
Ophthalmol Vis Sci* 48: 4342-4350, 2007.

Koto T, Nagai N, Mochimaru H, Kurihara T, Izumi-Nagai K, Satofuka S, Shinoda H, Noda  
K, Ozawa  
Y, Inoue M, Tsubota K, Oike Y, Ishida S: Eicosapentaenoic acid is anti-inflammatory in  
preventing choroidal neovascularization. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 48: 4328-4334, 2007.

Izumi-Nagai K, Nagai N, Ozawa Y, Mihara M, Ohsugi Y, Kurihara T, Koto T, Satofuka S, Inoue M,  
Tsubota K, Okano H, Oike Y, Ishida S. : Interleukin-6 receptor-mediated activation of STAT3  
promotes choroidal neovascularization. *Am J Pathol* 170:2149-2158, 2007.

Nagai N, Oike Y, Izumi-Nagai K, Koto T, Satofuka S, Shinoda H, Noda K, Ozawa Y, Inoue M, Tsubota K, Ishida S: Suppression of choroidal neovascularization by inhibiting angiotensin-converting enzyme: Minimal role of bradykinin. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 48: 2321-2326, 2007.

Koto T, Takubo K, Ishida S, Shinoda H, Inoue M, Tsubota K, Okada Y, Ikeda E : Hypoxia disrupts the barrier function of neural blood vessels through changes in the expression of claudin-5 in endothelial cells. *Am J Pathol* 170: 1389-1397, 2007.

Fuseya M, Imamura Y, Ishida S, Inoue M, Tsubota K: Regression of macular drusen after pars plana vitrectomy in a patient with age-related macular degeneration. *Retinal Cases & Brief Reports* 1: 160-162 , 2007.

Inoue M, Shinoda K, Shinoda H, Kawamura R, Suzuki K, Ishida S : Two-step oblique incision during 25-gauge vitrectomy reduces incidence of postoperative hypotony. *Clin Experiment Ophthalmol* 35: 693-696 , 2007.

Inoue M, Shinoda K, Shinoda H, Suzuki K, Kawamura R, Ishida S : 25-gauge cannula system with microvitorectinal blade trocar. *Am J Ophthalmol*. 2007; 144: 302-304.

Sugisaka E, Shinoda K, Ishida S, Imamura Y, Ozawa Y, Shinoda H, Suzuki K, Tsubota K, Inoue M : Patients' descriptions of visual sensations during pars plana vitrectomy under retrobulbar anesthesia. *Am J Ophthalmol* 2007;144: 245-251, 2007.

Kawamura R, Noda K, Negishi K, Shinoda K, Ishida S, Inoue M, Tsubota K : Intraoperative Dehiscence of Laser Subepithelial Keratomileusis (LASEK) Flap during Retinal Detachment Surgery. *Acta Ophthalmol Scand* 2007; 85: 459, 2007.

Satofuka S, Ichihara A, Nagai N, Koto T, Shinoda H, Noda K, Ozawa Y, Inoue M, Tsubota T, Itoh H, Oike Y, Ishida S : Role of nonproteolytically activated prorenin in pathologic, but not physiologic, retinal neovascularization. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 48: 422-429 , 2007.

Koto T, Inoue M, Shinoda K, Ishida S, Tsubota K : Residual crystals of triamcinolone acetonide in macular hole may prevent complete closure of the macular hole. *Acta Ophthalmol Scand* 85 (8):913-914, 2007.

Nagai N, Ishida S, Shinoda K, Imamura Y, Noda K, Inoue M : Surgical Effects and Complications of Indocyanine Green-assisted Internal Limiting Membrane Peeling for Idiopathic Macular Hole. Acta Ophthalmol Scand 85 (8):883-889, 2007.

Sato EA, Shinoda K, Kimura I, Ohtake Y, Inoue M : Microcirculation in eyes after rhegmatogenous retinal detachment surgery. Cur Eye Res 32: 773-779, 2007.

Suzuki Y, Nishina S, Azuma N : Scleral window surgery and topical mitomycin C for nanophthalmic uveal effusion complicated by renal failure: case report. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 245: 755-757, 2007.

Usui Y, Okunuki Y, Hattori T, Kezuka T, Keino H, Ebihara N, Sugita S, Usui M, Goto H, Takeuchi M: Functional expression of B7H1 on retinal pigment epithelial cells. Exp Eye Res: 86:52-59, 2008.

Fujimori K, Oh-I K, Takeuchi M, Yamakawa N, Hattori T, Kezuka T, Keino H, Suzuki J, Goto H, Sakai JI, Usui M: Circulating neutrophils in Behçet disease is resistant for apoptotic cell death in the remission phase of uveitis. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2008 246:285-90.

Keino H, Okada AA : Clinical features of Silk Road disease (Editorial). Br J Ophthalmol. : 91:1573-1574, 2007.

Oh-i K, Keino H, Goto H, Yamakawa N, Takeuchi M, Usui M, Iwasaki T: Up-regulation of neurotrophic factor-related gene expression in retina with experimental autoimmune uveoretinitis by intravitreal injection of tacrolimus (FK506). Br J Ophthalmol 91:1537-1540, 2007.

Ng TF, Lavik E, Keino H, Taylor AW, Langer RS, Young MJ: Creating an immune-privileged site using retinal progenitor cells and biodegradable polymers. Stem Cells. 25:1552-1559, 2007.

岡田アナベルあやめ. 加齢黄斑変性の最新治療. 日本医師会雑誌 136:1747-1751, 2007.

岡田アナベルあやめ. インフリキシマブ: 難治性ベーチェット病の新しい治療. あたらしい眼科 25:193-194, 2007.

慶野博, 岡田アナベルあやめ: 交感性眼炎と硝子体手術. 眼科手術 20:523-524, 2007.

坂本泰二, 樋田哲夫, 田野保雄, 根木昭, 竹内忍, 石橋達朗, 井上幸次, 大黒伸行, 岡田アナベルあやめ. 眼科領域における長期滞留ガス使用状況全国調査結果. 日本眼科学会会誌 111:936-945, 2007.

Tang J, Stevens RA, Okada AA, Chin M, Nussenblatt RB, Chan CC. Association of antiretinal

antibodies in acute annular outer retinopathy. *Arch Ophthalmol* 126:130-132, 2008.

岡田アナベルあやめ, 坪田一男. 目の病いー生活習慣病が原因. あたらしい眼科 25:1, 2008.

岡田アナベルあやめ. 巻頭言:日本の眼科における Value-Based Medicine. 眼科手術 21:1-2, 2008.

坂本泰二, 樋田哲夫, 田野保雄, 根木昭, 竹内忍, 石橋達朗, 井上幸次, 大黒伸行, 岡田アナベルあやめ. 眼科領域におけるトリアムシロン使用状況全国調査結果. 日本眼科学会会誌 112:45-50, 2008.

Iwase T & **Tanaka N** : Unfolding characteristics of a new hydrophobic acrylic intraocular lens and possible association with complications in triple procedures. *Clin Experiment Ophthalmol* 35 : 635-639, 2007.

Pulivarthy SR\*, **Tanaka N**\*, Welsh DK, De Haro L, Verma IM & Panda S : Reciprocity between phase shifts and amplitude changes in the mammalian circadian clock. *Proc Natl Acad Sci USA* 104 : 20356-20361, 2007. (\***equally contributed**)

Hotta K: Retinopathy in adult amyopathic dermatomyositis. *Retinal Cases & Brief Reports* 1: 77-79, 2007.

Hotta K: Postoperative refractive error of secondary intraocular lens implantation after simultaneous vitrectomy and lensectomy. *Ophthalmic Surg Lasers Imaging* 38: 336-338, 2007.

吉野 啓:緑内障とステロイド使用. *Visual Dermatology* 6:1040-1043, 2007.

平形明人, 大野京子, 生野恭司:強度近視眼底研究における現時点での理解と問題点. 日本強度近視眼底研究会, 日本眼科学会雑誌 112:127-135, 2008.

平形明人:網膜硝子体疾患治療における長期滞留ガス. 日本眼科学会雑誌 112:3-6, 2008.

五月女典久, 平形明人, 井上真, 樋田哲夫:乳頭小窩黄斑症に類似した網膜分離を呈した硝子体黄斑牽引症候群の1例. あたらしい眼科 25:109-113, 2008.

江本宜暢, 平形明人, 三木大二郎, 川真田悦子, 岡田アナベルあやめ, 樋田哲夫, 知念克也, 安藤伸朗: Penicillium 感染による白内障術後眼内炎の 1 例. 眼臨紀要 1:122-127, 2008.

二宮夕子, 平形明人, 平岡智之, 国田大輔, 井上真, 忍足和浩, 杉谷篤彦, 二神創, 三木大二郎, 樋田哲夫: 白内障術後眼内炎における背景因子からみた臨床像の検討. 日眼会誌 (印刷中)

Inoue M, Hirakata A, Iizuka N, Futagami S, Hida T: Tractional macular detachment associated with optic disc astrocytic hamartoma. Acta Ophthalmol (accepted)

忍足直子, 平形明人, 堀江大介, 井上真, 樋田哲夫, 吉野秀朗: 網膜中心動脈閉塞症における全身合併症の検討. あたらしい眼科 (印刷中)

浜由紀子, 柳沼重晴, 杉谷晴彦, 平形明人, 樋田哲夫: Bevacizumab 硝子体内投与が有効であった若年増殖糖尿病網膜症の 1 例. 眼科 (印刷中)

Sato EA, Shinoda K, Inoue M, Ohtake Y, Kimura I: Reduced choroidal blood flow can induce visual field defect in open angle glaucoma patients without intraocular pressure elevation following encircling scleral buckling. Retina 28(3):493-7. , 2008.

### Ⅲ. 著書(電子メディアを含む)

平形明人: 眼底検査. 眼科診療便利手帖:262, 診断と治療社, 東京, 2007.

平形明人: 小児眼底疾患の病態と硝子体. 田野保雄他(編), みんなの硝子体手術, 眼科プラクティス 17, p174-181, 文光堂, 東京, 2007.

平形明人: 後部硝子体剥離作成の重要性. 田野保雄他(編), みんなの硝子体手術, 眼科プラクティス 17, p182-185, 文光堂, 東京, 2007.

平形明人: Coats 病 今日の眼疾患治療指針 田野保雄, 樋田哲夫編集 p.256 医学書院 東京 2007.

平形明人: Eales 病 今日の眼疾患治療指針 田野保雄, 樋田哲夫編集 p.257 医学書院 東京

2007.

平形明人:網膜末梢血管拡張症 今日の眼疾患治療指針 田野保雄, 樋田哲夫編集 p.258 医学書院 東京 2007.

平形明人:乳頭小窩黄斑症候群 今日の眼疾患治療指針 田野保雄, 樋田哲夫編集 p294 医学書院 東京 2007.

平形明人:朝顔症候群 今日の眼疾患治療指針 田野保雄, 樋田哲夫編集 p295 医学書院 東京 2007.

平形明人:術後合併症とその対処法ー眼内炎ー. 今日から実践!小切開硝子体手術, 門之園一明編, p112-117, メジカルビュー, 東京, 2008.

永本敏之:アトピー性白内障. 眼科プラクティス 18 前眼部アトラス. 大鹿哲郎, 田野保雄, 樋田哲夫, 根木昭, 坪田一男編. 東京, 文光堂, 2007. p. 392-393.

永本敏之:後極白内障. 眼科プラクティス 18 前眼部アトラス. 大鹿哲郎, 田野保雄, 樋田哲夫, 根木昭, 坪田一男編. 東京, 文光堂, 2007. p. 394.

永本敏之:Soemmerring 輪. 眼科プラクティス 18 前眼部アトラス. 大鹿哲郎, 田野保雄, 樋田哲夫, 根木昭, 坪田一男編. 東京, 文光堂, 2007. p. 421.

永本敏之:Thiel のレントイド. 眼科プラクティス 18 前眼部アトラス. 大鹿哲郎, 田野保雄, 樋田哲夫, 根木昭, 坪田一男編. 東京, 文光堂, 2007. p. 422.

岡田アナベルあやめ. 総説:用語の再確認からグローバル基準への参加. 眼科プラクティス:眼内炎症診療のこれから. 文光堂, 東京 2007 年.

岡田アナベルあやめ. 手術時のステロイド併用. 眼科プラクティス:眼内炎症診療のこれから. 文光堂, 東京 2007 年.

岡田アナベルあやめ. 眼 Behcet 病に対するステロイド全身投与. 眼科プラクティス:眼内炎症診療のこれから. 文光堂, 東京 2007 年.

Okada AA. Behçet's disease. In: Ophthalmology, third edition, M Yanoff, J Duker (eds.), Elsevier,



London, 2007.

岡田アナベルあやめ. 眼トキソプラズマ症. 今日の眼疾患治療方針, 第2版(総編集: 田野保雄, 樋田哲夫). 医学書院, 東京 2007 年.

岡田アナベルあやめ. トキソカラ症. 今日の眼疾患治療方針, 第2版(総編集: 田野保雄, 樋田哲夫). 医学書院, 東京 2007 年.

岡田アナベルあやめ. 眼ヒストプラズマ症. 今日の眼疾患治療方針, 第2版(総編集: 田野保雄, 樋田哲夫). 医学書院, 東京 2007 年.

岡田アナベルあやめ. きっかけは1つの内科症例だった. 臨床眼科 2007 増刊号 p. 83, 医学書院, 東京 2007 年.

三木大二郎: ARN に対する硝子体手術のコツとタイミング. 岡田アナベルあやめ編; 眼内炎症診療のこれから, 眼科診療プラクティス 16. 東京. 文光堂. 2007, p118-119.

三木大二郎: 眼科 ER まるごとマスター; 症状から何を考える, 外傷一目を切った. 白神史雄編; 眼科インストラクションコース 11. 東京. メジカルビュー社. 2007, p48-55.

三木大二郎: 裂孔不明例と裂孔検出不十分例—網膜裂孔の検出法—. 田野保雄編; みんなの硝子体手術, 眼科診療プラクティス 17. 東京. 文光堂. 2007, p236-237.

三木大二郎: バックリング手術時の眼圧調整. 田野保雄編; みんなの硝子体手術, 眼科診療プラクティス 17. 東京. 文光堂. 2007, p264-265.

井上 真: G. 網膜剥離. TEXT 眼科学(改訂第2版)

井上 真: 硝子体疾患. TEXT 眼科学(改訂第2版)

井上 真: 網膜中心動脈閉塞症への治療の試み. 動脈内局所血栓溶解と Nd:YAG レーザー血栓溶解, 硝子体手術血栓除去. あたらしい眼科, 2007. (6): p. 791-792.

井上 真: 網膜剥離. 特集極小切開白内障手術の同時手術. IOL&RS, 2007. 21(3):3 p. 38-341.

井上 真: アトピー性皮膚炎に併発する網膜剥離への治療とは? アトピー性皮膚炎に併発する網

膜剥離への治療について教えてください。特集1アトピー性皮膚炎に伴う眼科的疾患について Q&A 治療。「Q&A でわかるアレルギー性疾患」, 2007. 3(2): p. 142-144.

井上 真: 25G 硝子体手術のコツ. 治療の基本知識. 5. 基本手技. みんなの硝子体手術. 眼科プラクティス 17 巻 , 2007. p. 76-77.

井上 真: 同時手術. 眼科診療における硝子体. 1. 白内障と硝子体. みんなの硝子体手術. 眼科プラクティス 17 巻 :p. 98-101, 2007.

井上 真: 眼内炎は手術かタップか? 合併症の対策と管理. 6. 硝子体手術後の眼内炎. みんなの硝子体手術. 眼科プラクティス 17 巻 , 2007. p. 312-313.

井上 真 : 網膜硝子体診療の進歩 C 網膜静脈閉塞症 1. トリアムシノロン あたらしい眼科,2007. 24: p. 185-188 .

井上 真:臨床雑誌「内科」特集 内科疾患最新の治療—専門家からのアドバイス[代謝・内分泌] 5. 糖尿病網膜症,2007. 97(6): p. 1364-1365 .

永本敏之:先天白内障術後の囊混濁. 眼科プラクティス 20 小児眼科診療. 樋田哲夫,田野保雄,根木昭,坪田一男, 大鹿哲郎編. 東京, 文光堂, 2008. p. 150-151.

井上 真 : 特集 糖尿病マネジメント up-to-date <合併症の診断と治療> 網膜症 内科, 2008. 101(1): p. 39-42 .

井上 真:極小切開で直そう—黄斑円孔—.【ここまで来た！網膜疾患治療】 眼科インストラクションコース 15.メジカルビュー社, 2008 . p. 80-85.

井上 真 : アトピー白内障と網膜剥離.【小児眼科診療】7. 眼底疾患 6)小児網膜剥離. 眼科プラクティス 20 巻,文光堂 3, 2008. p. 230-233.

井上 真:2. 用意する手術機械・器具. 今日から実践！小切開硝子体手術. メジカルビュー社, 2008 . p. 14-19.

井上 真:硝子体切除. 3. 25G 硝子体手術の操作. 今日から実践！小切開硝子体手術. メジカルビュー社, 2008 . p. 24-27.

井上 真:周辺部処理. 3. 25G 硝子体手術の操作. 今日から実践！小切開硝子体手術. メジカルビュー社 , 2008 . p. 40-45.

井上 真:1. 非接触型 wide field viewing system. 手術顕微鏡の特徴. 周辺部処理. 3. 25G 硝子体手術の操作. 今日から実践！小切開硝子体手術. メジカルビュー社 , 2008 . p. 164-167.

慶野博:眼科プラクティス 16 巻 眼内炎症疾患のこれから: 合併症の管理. 岡田アナベルあやめ編. 東京, 文光堂, 2007. p. 58-65.

慶野博:眼科診療便利手帳 後部ぶどう膜炎. 白井正彦, 坪田一男編. 東京, 診断と治療社. p106-107.

慶野博:今日の眼疾患診療指針 真菌性眼内炎. 田野保雄, 樋田哲夫編. 東京, 医学書院. p212.

慶野博:今日の眼疾患診療指針 全眼球炎. 田野保雄, 樋田哲夫編. 東京, 医学書院. p213.

吉野 啓:ステロイド緑内障. 今日の眼疾患治療指針第2版:357-358, 東京, 医学書院, 2007.

吉野 啓:落屑緑内障. 今日の眼疾患治療指針第2版:358, 東京, 医学書院, 2007.

平岡智之:術後合併症とその対処法, 網膜剥離. 小切開硝子体手術. 門之園一明, 井上真, 林篤志編. 東京, メジカルビュー, 2008. p. 108-111.

鈴木由美 , 東 範行 : 家族性滲出性硝子体網膜症・第一次硝子体過形成遺残 小児眼科診療 眼科プラクティス 20 巻 樋田哲夫編 眼科プラクティス編集委員編. 東京, 文光堂, 2007. p. 188-192.

鈴木 由美 : 弱視 小児眼科診療 眼科プラクティス 20 巻 樋田哲夫編. 東京, 文光堂, 2007. p. 104-109.

鈴木由美 , 仁科幸子:目の異常 周産期の症候・診断・治療ナビ 周産期医学 第37巻 増刊号. 東京, 東京医学社, 2007. p. 531-534.

野田英一郎:斜視. 眼科プラクティス 20 巻小児眼科診療. 樋田哲夫編. 東京, 文光堂. 2008. p95-101.

今野公士:眼窩外傷:眼窩壁骨折. 眼科プラクティス 20. 小児眼科診療. 樋田哲夫編:東京,

文光堂, 2008. p. 242-245.

浜由起子:両眼視機能検査. 眼科プラクティス 20. 小児眼科診療. 樋田哲夫編:東京,文光堂, 2008. p. 49-53.

浜由起子:黄斑低形成. 眼科プラクティス 20. 小児眼科診療. 樋田哲夫編:東京, 文光堂, 2008. p. 210-210.

堀田一樹:外傷性視神経障害, 穿孔性眼外傷, 外傷性網膜剥離, 脈絡膜破裂. 今日の眼疾患治療指針第2版(田野保雄 他編), 医学書院 2007. p564-566.

堀田一樹:緊急処置に備えるために必要な器具, 薬品. 眼科インストラクションコース No.11 (白神史雄 他編), メジカルビュー社 2007. p172-175.

#### IV. その他(報告書,監修,翻訳,学会主催等)

岡田アナベルあやめ. 迷ったときの医者選び:東京. 角川 SS コミュニケーションズ, 2008 年.

三木大二郎:私が思うこと—おつきあい:あたらしい眼科 24:1643-1644, 2007.

三木大二郎:網膜剥離の症状と治療. 医学講座. 日経ラジオ社, 2008.2.20.

井上 真:物がゆがむ, 黒く見える. 加齢で起こる黄斑変性. 光線力学療法で視力維持. 茨城新聞 2007 年 12 月 9 日.

井上 真:物がゆがむ, 黒く見える. 黄斑変性. 加齢とともに起こるで起こる. 光線力学療法で視力維持. 釧路新聞 2007 年 12 月 9 日.

井上 真:物がゆがむ, 黒く見える. 加齢で起こる黄斑変性. 光線力学療法で視力維持. 苫小牧民報 2007 年 12 月 5 日.

井上 真:物がゆがむ, 黒く見える. 黄斑変性. 視力の維持へ光線力学療. 中国新聞 2007 年 12 月 12 日.

井上 真：物がゆがむ，黒く見える．加齢とともに起こる黄斑変性．光線力学療法で視力維持．岩手新聞 2007 年 12 月 31 日．

井上 真：物がゆがむ，黒く見える．加齢とともに起こる黄斑変性．光線力学療法で視力維持．十勝毎日新聞 2008 年 2 月 25 日．

杉谷 篤彦：あなたの安心(どうしました)加齢黄斑変性症の治療法は．朝日新聞 2007 年 5 月 27 日．